

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

市町名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために 本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標 （アウトカム）	目標の達成度を 測る指標	調 査 の 数	率 ％	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 （事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
草津市	②学校と地域の 課題	学校支援ボラン ティアの確保・育 成	高齢化により、ボランティア活動から退く方が増えており、社会全体で子どもを育んでいく体制を確かなものにするために、活動への協力者、後継者の育成や人材の発掘が課題となっている。	地域との連携や市内にある大学とのつながり、地域コーディネーター間のつながりなどを課題。各小・中学校の事業において新しい人材（活動への協力者）を増やす。あるいは、各小・中学校の事業において活動に協力していただく分野を増やす。	活動の協力者の裾野が広がることによって、子どもの学びがより豊かになるとともに、教員の業務負担感が軽減し、充実した取組を行うことができる。	県アンケート「地域と学校の連携協働によって、『学校における働き方改革』につながりましたか」、「地域と学校の連携協働によって、子どもの主体的な学びにつながったり、子どもの学びが深まったりしましたか」の設問に対しての「そう思う」、「まあそう思う」への回答数	40	％	50	90	3 地域コーディネーターの活躍により、地域との連携や市内にある高校や大学とのつながりが増え、子どもの学びを深めることができた。 地域でかかわっていただいている方の高齢化が課題。	https://www.city.kusatsu.shiga.jp/kusodate/kozagakushu/shougakushu/chilikyoudougakkou/kyodokosuishin.htm